

戦争と平和 今考える、



人々が等しく平和に暮らせる世界の実現を目指し、市は平成4年に「平和都市宣言」を行いました。今年はそのから20周年という節目を迎えます。私たちは、この宣言に込められた思いを大切に、戦争のない平和な社会を築いていかなければなりません。この機会に、あらためて過去の戦争がもたらしたことや平和の尊さについて考えてみましょう。

このページに関するお問い合わせは、区政課 ☎211-2252

札幌の戦争の歴史を知る

太平洋戦争が終結してから60年余りが経過し、戦争の記憶が薄れつつある昨今。まず、札幌における戦争の歴史を振り返ってみましょう。

【札幌の戦前戦後のあゆみ】

1937(昭和12)年	日中戦争が始まる
1938(昭和13)年	戦争の進展に伴い、昭和15年に開催予定の第5回冬季札幌オリンピックを返上
1939(昭和14)年	第2次世界大戦が始まる
1940(昭和15)年	札幌に北部軍司令部設置
1941(昭和16)年	太平洋戦争が始まる
1942(昭和17)年	資源不足のため、狸小路のスズラン灯を供出
1944(昭和19)年	大通公園が自給菜園となる
1945(昭和20)年	・白石、手稲、苗穂、丘珠が空襲に遭う ・広島、長崎に原爆投下 ・終戦
1972(昭和47)年	第11回冬季札幌オリンピック開催
1992(平成4)年	札幌市平和都市宣言

供出されたスズラン灯 ▶

戦局が悪化していく中、武器を作るのに必要な鉄や銅が積極的に回収され、狸小路にあったスズラン型の街灯も姿を消しました。



↑昭和3年ごろの狸小路とスズラン灯



↑大通公園を耕す市民(昭和19年)

◀畑になった大通公園

戦時中は食料不足となり、大通公園の大部分はイモなどを栽培する畑として利用されました。

戦地に赴く学生たち ▶

太平洋戦争末期には兵力不足を補うため、市内の学生も在学途中で戦地に赴くことになりました。



↑北海道帝国大学(現北海道大学)専門部学生の出陣(昭和20年)

札幌でも空襲があった

1945(昭和20)年7月に、北海道は米軍による空襲にさらされ、札幌では白石や手稲、苗穂などが攻撃を受けました。現在のJR白石駅付近では機関車が銃撃を受けたほか、丘珠では陸軍の飛行場とその周辺の農地が爆撃に遭い、市民の尊い命が奪われました。



↑丘珠に撃ち込まれた機銃弾



↑北部軍司令部に向かう占領軍(昭和20年)

◀北1条通を進む占領軍

終戦後、小樽に上陸した占領軍は北1条通を進んで札幌の中心部に入りました。重装備の車両群が列を連ね、兵士たちは手に銃を握りしめていたといえます。

札幌に残る戦跡を見る

日本の北方を守る重要な拠点としての役割を担っていた札幌には、軍や戦争に関する多くの施設がありました。札幌に今なお残る戦争の爪痕を紹介します。

札幌飛行場 正門跡 (北区北24西8)

かつて、道内唯一の東京への定期航空路を持っていた札幌飛行場。現在は門柱のみが残されています。

戦時中は兵器工場や製鉄所がある室蘭の防空のため、陸軍飛行隊が配備されましたが、終戦に伴い、飛行場は閉鎖されました。



昔

↑ 昭和17年当時の札幌飛行場



宮の森・北24条通沿いにある門柱に「札幌飛行場」の文字。長年の風雪で、ひびの跡が目立ちますが、ここに飛行場があったことを今に伝えています。

← 現在も残る正門跡

歩兵25連隊射撃場跡 (豊平区美園12の7・8月寒公園内)

豊平区にある月寒公園は、以前は軍隊の演習場でした。現在でも、射撃的として使われた斜面の跡地を見ることができます。

月寒公園は、かつて月寒に駐屯していた部隊が射撃などの訓練をする場所として使われ、多くの軍事演習が行われました。



昔

↑ 軍事演習の様子(昭和14年)

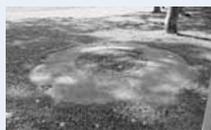


園内の野球場横に今も残る緩やかな傾斜地。丘の上には遊具などもあり、現在は市民の憩いの場となっています。

← 現在の月寒公園の丘陵

このドーナツ型は何？

爆撃機を狙い撃つ「高射砲」の台座の跡です。これが見られる東区的美香保公園は空襲の被害の拡大を防いだり、避難したりするための場所として造られました。



↑ 現在は野球場横の芝生の中で見ることができます(東区北22東4)



市の平和訪問団として追悼式典に参加した常盤中学校3年このあいか河野 藍香さん

戦跡を見て感じたこと

札幌にも多くの戦跡が残されていることに驚きました。みんなが楽しく集う公園が、実は戦時中の訓練場であったことなどを知り、平和な社会で生活していることの尊さをあらためて感じました。戦争を経験していない私たちの世代も、悲しい過去を学び、平和な社会を引き継いでいきたいと思います。

戦争と平和を学ぶ・考える

戦争の悲惨さを学び、平和の尊さを考えるためのホームページや資料があります。

平和バーチャル資料館

市民の戦争の体験談や戦跡などを中心に、戦争の惨禍や当時の生活を伝える多くの資料が見られるホームページ。子ども向けのページもあります。



札幌市平和バーチャル資料館

検索

つきさつ 郷土資料館

1941(昭和16)年に旧陸軍北部軍司令官官邸として造られた建物。農耕・林業、生活、旧軍隊、古文書の4部門に分け、約4千点の資料を展示しています。



所在地 豊平区月寒東2の2 開館日時 4月～11月の水曜と土曜。10時～16時 詳細 ☎ 854-6430

平和の大切さを次の世代へ

戦後67年が経ち、戦争を体験した世代は少なくなっています。こうした中、戦争を二度と起こさないために、そして、平和な暮らしを守り続けるために、戦争の記憶を風化させず、語り継いでいくことが大切です。日本では、平和が当然のこととなっている今日。今一度、平和の尊さについて、家庭や地域で考えてみませんか。

平和都市宣言20周年記念 平和パネル展

戦場カメラマン渡部陽一氏 わたなべ しょういち が戦地で撮影した写真のほか、広島平和記念資料館所蔵の「サダコと折り鶴」のポスターなど貴重な資料を展示します。

日時 8/3(金)～15(水) 10時～19時 会場 駅前通地下歩行空間北4条イベントスペース

イマジン音楽祭

子どもたちから寄せられた平和や希望、夢をテーマにした詩に曲を付けて歌い、平和の大切さについて考える音楽の祭典。

日時 10/8(祝) 15時

会場 ちえりあホール(西区宮の沢1の1)

費用 1,000円。前売り800円、18歳以下無料。チケットはちえりあ、市内プレイガイドで発売中 詳細 同音楽祭実行委員会事務局 ☎ 090-2876-5620